

平成 29 年 度

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

## 事 業 報 告 書

認定 特定非営利活動法人

北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

### 目 次

I. 総会に対する社員(含理事)名簿

II. 事業報告書

1. 事業状況～概要、経過
2. 教育実践、諸活動
3. 組織及び執行体制
4. 庶務に関する事項
5. 各事業～定款項目別

III. 決算書

1. 活動決算書
2. 財産目録
3. 貸借対照表及び当期収支差額の処分

IV. 監事の意見書

V. 役員／体制(社員名簿、平成 30 年度事業方針・同予算)

# 平成 29 (2017) 年度事業報告書 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

認定 特定非営利活動法人  
北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

## 1. 事業の状況

### 【概要】

1998 年夕張レスカールの実践を受け'03 年に NPO 法人認証、以降は定款・設立趣意書に掲げた教育及び各分野活動を基本に、'07 年度より新たな展開＝「既存学校法人との“協同＝教育連携”を開始（共育の森学園の再建支援）しました。加えて'09 年度より地球温暖化に対応した《エコハウス》を推進し独自集会や他団体との共同企画を継続しています。

'10 年度以降は実践を基盤に、'13 年度/15 周年行事・認定 NPO 法人取得、'14 年/エコハウス道新エコ大賞奨励賞、'14-15 年/『雪国札幌発 ECO 防災教室』実施&冊子発行など。'17 年度は 20 周年イベントと WAM 助成のモデル事業「つきさつぷり寺子屋」を展開しました。（月寒スクールは農業実習含む各種体験総合学習や教育大釧路校実習持続＋学園祭を実施）。

年間の推移概要は以下の通りです。

### 【第 14 年度の経過】

(敬称略)

平成 29 年 (5 月 20 日) 平成 28 年度総会開催

- 同 3 月 「フロンティア 226 号」：法人社員・倉賀野「多様性は未来を拓く」、\* 年度会費案内  
3/18 「卒業・修業のつどい」、4 名卒業 \* 共育の森学園：高校 3/1 卒業・入学 4/10、看護 3/4、4/1
- 4 月 「フロンティア 227 号」：法人代表・吉野「『教育の私物化』では未来が描けない」  
4/10：新学期、4/末「入学のつどい」 \* 「つきさつぷりプロジェクト」参加。WAM「新たな居場所モデル事業」
- 5 月 農業実習：余市教育福祉村/畑借用、畑起し&雑草・トウモロコシ・トマト・ミニトマト・ジャガイモ・キュウリ・ズッキーニ等苗植え  
「フロンティア 228 号」：法人副代表・田中「今時の浴衣事情」、\* 「つきさつぷり寺子屋」プレ&スタート
- 6 月 /21-23 企画「余市農業・滝野芸術の森、スクール宿泊」、スクール農芸/園芸進行、 \* 寺子屋～学生説明会  
「フロンティア 229 号」：法人理事・鈴木「詩との出会い」、\* 共育の森学園/理事会・調整対応
- 7 月 /19-20 キャンプ；フットパス in 余市教育福祉村、7/-夏期講習＋塾講習、\* 朝日：「やってみる科」記事
- 8 月 「フロンティア 230 号」：法人代表・吉野「真実(、もう一つの真実)と向きあい、共に生きること」  
余市教育福祉村；8/7-8 トムソーキャンプ、収穫、スクール 2 学期、ミツバ教室、\* 共育の森学園：高校研究会
- 9 月 「フロンティア 231 号」：法人代表・大塚「戦後 72 年目の広島・長崎を子どもと共に学ぶ」  
実践 20 周年 9/2 「きのくに子どもの村・堀学園長」講演会；50 名 \* /29-30 記念イベント&学園祭
- 10 月 「フロンティア 232 号」：法人理事会「教育実践 20 年の歩みとこれから」 \* 道新：「堀講演」記事  
10/9 さっぽろく子育て教育>フェスタ「香山リカ講演」、実委/大塚～あそびの広場/分科会分担、\* 年末物販パンフ
- 11 月 /30-11/1 修学旅行；層雲峡・旭川・富良野、\* NHK：「不登校」取材上映、「自由な小学校」集会進行
- 12 月 「フロンティア 233 号」：法人監事・吉田「地球の自然環境を守ろう」、\* 共育の森学園：高校 OS3 明引率  
釧路教育大学実習 12/11-15～琉球大舎 10 名による授業・行事・泊会・子ども館体験会、冬期講習会、  
12/9：NPO 理事会、研修&望年会、 \* 寺子屋：第 2 回研修会～北大宮崎教授、/23 クリスマスパーティ
- 平成 30. 1 月 「フロンティア 234 号」：法人代表・吉野「思考(思想)は星と同じように地平線から現れてくる・・・」、  
登校日、1/24・3 学期、サト授業、韓国語教室 \* 物販まとめ
- 2 月 「フロンティア 235 号」：法人代表・大塚「不登校生の高校進学を考える」、\* 年次会費依頼  
年次説明会：2/17. 3/3、 「自由な小学校」：/2 旭川説明会・ゆきのさと通信 3 号、
- 3 月 「卒業・修業のつどい」3/17～4 名卒業、教育大釧路 OB 参加。スクール春休み、\* 共育の森学園理事会  
WAM「つきさつぷり寺子屋」報告書作成、\* 春休み登校日、見学会～体験入学へ
- 4 月 「フロンティア 236 号」：法人理事会・「市民立型の“共に育ちあう”学び舎づくり」('18 事業計画案)  
4/10 年度新学期、WAM「平成 30 年度社会福祉振興助成事業」採択『寺子屋&実家』～東京説明会
- 5 月 「フロンティア 237 号」：和光会長・田中傳右衛門「

## 2. 教育実践、諸活動

### 【分掌、運営】

#### 1) 基本体制

\* 別紙「カリキュラム」他

◎NPO 本体 常勤役員 4 名/吉野、大塚、鈴木、廿日岩、社員 2 名/北、滑川、

◎スクール 学園長：大塚～常勤/フル 3 名、3 日 2 名、2 日 1 名、1 日 3 名、

◎子ども館 [センター長：鈴木]→卒業収束。◎GAOKA 塾 責任：大塚+鈴木滑川、小中学生 4 名→8 名。

◎ボランティア 社会人、学生・・・(勤務は上記スクール欄)/尾田・川島・江田・侯(⇒現状は一定有償型)

## 2) カリキュラム&担当

<学科>

- ◎日本語：大塚、鈴木+初等スタッフ、
- ◎数学：大塚、川島、他
- ◎社会：江田/公民、滑川/歴史
- ◎理科：大塚・滑川

<総合型>

- ◎地球に生きる科：大塚
- ◎人間科：吉野+ゲスト
- ◎やってみる科：滑川他 \*初等部：常勤+他
- ◎体育：全員
- ◎表現科：北、
- ◎各種行事：常勤、

## 3) 学期(末)対応

- ・月次 学校：出欠案内。期末：通知表「成長の記録」：記述A4記述3~5枚。年度：「記念作品」制作など

## 4) 付加、関連業務

- ◎IT~ホームページ管理/鈴木他 ・環境設定、パソコン保守：(アールズサポート/寺下)、機器更新：W-7.8+内部XP
- ◎事務所維持(清掃、台所、外周他)、 ・冬季対応~暖房/ペレットストーブ、水道(冬季)、省エネ/各階、除雪)
- ◎助成 1)札幌市：付加スタッフ・体験メニュー、2)サポートホット：ハンディサポート、3)募金会：普及、4)WAM：週末の新たな居場所

## [普及、協同]

### 1) 普及活動

- ◎普及全般 年次パンフ：「スクール」版2種、「NPO」版+「GAOKA」チラシ~団体新聞折込・集会配布、休3店舗・エポグラフィ
- ◎相談会等 「月次」企画：ホームページ、建物掲示板など、チラシ~上記同様
- ◎イベント ◆道民教：[札幌集会~6月学習会となり個別対応]、(→不登校分科会・合研・親の会・)
- <外部> ◆さっぽろ子育て教育フェスタ：毎年10月、実行委員/大塚+吉野滑川他、展示/分科会運営→「報告集」
- ◆社会教育フォーラム：[北大社会教育研究室] \*ここから韓国ブル学校接点]
- ◎通信発行 No.228-236号~年次10回、会員400名弱+エポグラフィ等配架、郵送/郵便局契約(9月値上!)+手渡し

### 2) 大学、教育機関連携

- ◎実習受入れ ・釧路教育大教育内容方法研究室：従来年4回+卒業立会 ⇒担当教官定年により年1回12月。
- ・寺子屋プロジェクト：北大・学園大の社会教育/宮崎・内田教授~学生複数名+天使大1名。
- ・個別：北大教育学部院生/発達心理~中国Y・フインランド/Y。[札幌学院大他]
- ◎共育の森学園 Y：15年度/常任理事、問宮理事(長)補佐。17年度/要請により半年継続、秋区切り。
- ・旧短大施設：図書館開放/毎週火水曜、施設貸出~体育館・IT教室・貸事務所/FM他、\*自前企画；絵画展
- <政策テーマ>・自由が丘推薦~H25/3、H26、H27/1、H28/1、H29/1、H30/0、旧短大=2千坪施設活用法模索

### 3) 他団体 [都度調整]

- NEPA 新エネルギー普及促進協会：「冊子」協力、後援依頼「18.9/15小島講演」 ・NERC コンサル：Y相談役、
- 余市教育福祉村：農場利用・Y監事~今後の体制や利活用検討 \*「教育による地域活性の可能性」
- 地域自治体問題研究所：(小田理事長)Y理事、\*「教育テーマでの講座・分科会企画」

## [特記/再掲]【「エコハウス」の取り組み】

- ~2010：北海道「グリーン・ビズ事業所」認定、
- ~2012：札幌市環境賞「優秀賞」受賞、同年・郵便事業「建物改築=外壁修理」、
- ~2014：北海道新聞エコ大賞「奨励賞」受賞、 \*「道環境教育学会~経由」月刊「工業教育3月号」寄稿
- ~2014-15：さっぽろ発「ECOエネルギーで防災教室」11.2月2回実施、北大・天使大の教官協力
- ◆2011.3/11原発事故以後、自然エネルギー導入が大事な社会テーマ。加えて脱原発は環境保全&地域再生の21世紀的課題。
- ・視点① 北海道の条件~一次産業・地域振興と結合したフロンティアへ ==> 自由が丘；都会での“先進基地”
- ・↓ ② 泊・大間原発~活断層・ブルマル・温排水・廃棄物蓄積など ==> 停止、廃棄への可能な接点・連携
- ◆自由が丘センターの現状 注：自家発電はまず建物消費 → 余剰分は売電(不足は買電)
- ・【ソーラーパネル】 ——> 小さいけれど市民発電所、電気約50-60%削減+省エネ/生徒パネ。ローン14年完済
- ・【ペレットストーブ】 ——> 冬季暖房を化石燃料で環境負荷を低減中、バイオマス資源の地産地消推進
- \*トータルでCO2約▲7.0%、引き続き環境教育や地域開放=サテライト促進。~HP、市民講座、研究機関連携
- ・【照明LED化】 ——> 蛍光管約90%LED=従来機器寿命・省エネ⇒電気代△80%・15年保証・×虫・×破損
- ◆資金 09-10年：寄金等72万(+借入百万)、はまなす財団30万、11年：個別(秀岳荘、酒井・田中・廿日岩・小野さん)
- LED分：96万→54万、頭金10万-販促8万、ローン5年；9,100円。 \*電気代1万→「 」円位か。
- ◆今後、将来展望 \*長野、宮城など各地取り組みあり

- ・100%自然エネルギーの施設 ⇒ 追加的ソーラーパネル導入、雨水利用、(屋上)緑化、省エネ・
- ・暖房・発電の市民ファンド展開 ⇒ 市民からの基金蓄積→導入施設募集/教育文化団体→融資/回収

### 3. 組織及び運営・執行について

#### 〔概要〕

基本となる教育実践・普及・エコハウス推進と田団体協同や小樽の学校法人再建 10 年目連携により自由が丘理念の具現化に努めてきました。通常は月寒スクールを基盤に、「子ども達が学び・成長の主体者」の学習・行事・運営を持続しながら彼らの進路進学サポートも行いました。(卒業生 4 名。子ども館は収束/体験企画範囲・GAOKA 塾増加中)

普及活動では各種教育集會に積極参加し役割分担&実践紹介などを進めました。定例の「さっぽろフェスタ」、20 周年記念の講演会・秋季コンサート&トークを運営。組織基盤では、2013 年『認定 NPO 法人』認可を得て以来、毎年各種助成を受けて体験企画・子育て支援メニューを拡充中です。(寄付特典/還付で財務プラス反映という大きな成果は途上)

#### (1) 会員の推移

1) 正会員：会費を、個人 5,000 円・団体 50,000 円納入。役員 11(前年 12)、社員 7(〃 5)、下記は納入者。

①役員：11 名(監事含、過年納入含) ②社員：6 名(新規者 3 千円) ③法人：7 団体/ 継続

和光(2口)、秀岳荘(2口)、岡本建設、知床第一ホテル、幌村建設、佐々木総業、りんゆう観光、小計 24 名・社

2) 賛助会員：会費を、個人 3,000 円・法人 30,000 円納入 \*~前年は 2)・225 名、3)・77 名。①~⑤計 249 名。

④個人： ⑤大口/赤塚、河原、U 弁護士、株新倉屋/2 万、小計 171 名・社、以上①-⑤合計：195 名・社

3) 寄金⑥ 会費 3,000 円に加算して納入：納入額+2000~7,000 円以上なども相当数 小計：(31) 名

\*現状は 2)扱い、希望により 1)の②へ転換。——> 財政「収支決算書」参照。尚 H30 年度は 4/10 現在~「33」名。

#### (2) 会員の構成、拡充

1) 正会員 ・役員社員~元発起人、会員有志、理事の紹介、スクールスタッフ等。

2) 賛助 〃 ・通信購読~スクール父母、教育関係者等。エルプラザ配架パンフ見て加入もあり(他方、「高齢者」区切り申し出..)

#### (3) 執行体制

◎役員(敬称略) ・代表理事 2 名、理事 10→9 名、監事 1→2 名、内訳：代表/吉野・大塚、副代表/田中(非常勤)、  
・執行部：代表理事、分掌理事、常勤スタッフ、 : 監事/吉田・廿日岩、

◎基幹会議 ・勤務員会議：事務局メンバー週次 (常勤) スタッフ会議；月・金曜 ・月次スタッフ会議/月末、  
・その他会議：学期区切り研修付加。ボランティア=サポートスタッフとの情報共有。

### 4. 庶務に関する事項

1) 北海道庁(監督官庁)等への申請など

・平成 29 年 5 月、役員選任、所管/札幌市 (+登記手続きはなし)。

2) 第 1 回理事会：平成 29 年 5 月 20 日開催(総会時)【出席】8+2 名、+(委任 2)スタッフ/社員同席

3) 第 2 回理事会：平成 29 年 12 月 9 日開催(研修兼) 【出席】7+2 名、+スタッフ/社員同席

### 5. 各事業：定款活動分野による記載:下線を骨子。

第 1/子ども・青年の教育機会提供・支援、第 2/各種研修企画、第 3/教育相談、第 4/協同交流、第 5/広報・出版活動。

#### 1) 学習活動への援助：各スクールの授業・行事の企画提案、運営、参加。

・スタッフ支援；教科行事担当など約 3~5 名分をサポート。他に団体や集會講師での対応等

・学生受入れ：釧路教育大総合実習~18 年 4-5 回、H28-29 は 12 月(通算 100 回)、他大学等/個別・北大・学園大他。

#### 2) 教育推進者支援：スタッフと役員など支援者・推進者向け研修。

・役員、スタッフ研修会開催；学期毎、(独自企画、外部企画参加) ・理事会併催；新しい認可小学校運動/細田

・(一般向け)教育研修開催；教師塾~教育大/年 4→1 回、寺子屋研修会/年 3 回、大学生・若手スタッフを対象

#### 3) 教育相談：月次案内、個別相談受け入れ。専門家連携。

・学期毎の案内、年次説明会開催；2.3 月。月次相談会；各 2 回+体験会、個別；電話等の相談対応。

・案内、受付；月次/ホームページ、チラシ配布、建物掲示板 \*進路指導~明峰高校他へ見学引率。

#### 4) 協同交流活動：他団体集會の事務局対応・分科会参加(+独自企画)。

・民間教育集會の運営分担・サポート；札幌子育てフェスタ/実行委員(事務局)、月寒九条の会/世話人等、つきさっぽろ P/参加

・民間組織連携；NPO 余市教育福祉村/監事、道地域自治体問題研究所/理事、共育の森学園/理事・再建支援等

#### 5) 研究・講座等：(研究所包括テーマ)

・実践記録を通信等に紹介；教育大授業レポート、教育エッセ、発達支援報告、・独自企画：自然エネルギー普及「エコハウス」

・ブックレット：北海道発教育提言 No.1-11+「雪国 ECO 防災教室」。\*通信「巻頭言等編集=普及用」検討

#### 6) 広報・補助金他：

・「通信」定期発行：年次 9-10 回、+活動支援グッズ=物販、・ホームページ更新：新スタイル発信/生徒実践ページ

・独自チラシ、パンフ等：年次作成、一定エリア配布/地域団体・新聞折込み、エルプラザ・市民活動センター/常設

## 財産目録

平成 29 年度特定非営利活動に係わる事業会計財産目録

平成 30 年 3 月 3 1 日

認定 特定非営利活動法人  
北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会  
単位:円

科目・摘要	決算額		備考
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	296,492		
預金	1,470,191		北洋銀行 695,348、労金 1,093、 郵貯銀行 773,750
流動資産計		1,766,683	
2 固定資産			
備品等償却資産		455,000	
固定資産計		455,000	
資産合計			2,221,683
II 負債の部			
1 流動負債			
繰越収支差額			
前受金	862,000		
短期借入金	320,000		
出資信託金	890,000		
預り金	2,661		
流動負債計			2,074,661
2 固定負債			
固定負債計			
負債合計			2,074,661
差引正味財産			147,022

## 貸借対照表

平成 29 年度特定非営利活動に係わる事業会計貸借対照表  
平成 30 年3月31日

認定 特定非営利活動法人  
北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会  
単位:円

科目・摘要	決算額		備考
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	296,492		
預金	1,470,191		北洋銀行 695,348、労金 1,093、 郵貯銀行 773,750
流動資産計		1,766,683	
2 固定資産			
備品等		455,000	
固定資産計		455,000	
資産合計		2,221,683	
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	862,000		
短期借入金	320,000		
出資信託金	890,000		
預り金	2,661		
流動負債計		2,074,661	
2 固定負債			
固定負債計			
負債合計		2,074,661	
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	145,237		
当期正味財産増加額	1,785		
正味財産合計		147,022	

注:短期借入は繰越しとなった。(他方、事務所代は通年処理。前年は12-3月分研究所負担)

### 3. 当期収支差額の処分

当期収支差額 147,022 円は、次期繰越とする。